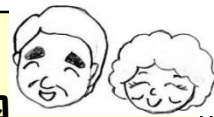


平成27年度 第2回
援助会員養成講座のご案内



『平成27年度第2回まつさかファミリーサポートセンター援助会員養成講座』を行います。
まつさかファミリーサポートセンターでは子育て家庭の「ちょっとお願い!」の声を地域で支援できるように、「子どもが主体」ととらえて、子育て子育てで支援をしています。子育てに関する知識を深めて頂ける講座内容となっていますので、ご自身の子育てやお孫さんを預かるときにも役立てていただけます。「子育てを応援したい!」「子どもが好き!」という方は、ぜひ受講していただき援助会員として登録し、子育て家庭を支援しませんか?

対象 松阪市内及び近隣市町に在住する20歳以上の方
募集人数 30名(先着順)
受講料 無料(但しテキスト代 2,200円が必要となります)
託児 無料
1月29日(金)以降の託児申込みは1月21日(木)までにお申込みください。
(飲み物・おやつをご持参ください)

1月12日(火) 松阪市市民活動センター	オリエンテーション ①保育サポーターの役割と心得 ②小児看護
1月29日(金) 松阪公民館	③保育の心 ④松阪市の子育て支援の現状 ⑤子どもの遊び
1月31日(日) 松阪公民館	⑥乳児の暮らしとケア ⑦事業を円滑にすすめるために ⑧子どもの栄養と食生活
2月4日(木) 松阪市産業振興センター	⑨子どもの心の発達と障害について ⑩子どもの事故と安全・幼児救急法
2月14日(日) 松阪公民館	⑪子どもの発達と病気 ⑫講座を振り返って

ゆきあそびツアー

親子で雪の中で、おもいっきり遊びませんか?
日 時 2016年2月6日(土)
行 先 奥伊吹スキー場(滋賀県)
参 加 費 小学生以上 9000円
3歳以上未就学児 4500円
2歳以下 300円(保険代のみ)
定員・対象 幼児小学生親子35名
定員になり次第締切
申 込 先着順に受付します
申 込 先 (特)松阪子どもNPOセンター
(詳細はお申し込み後にお知らせいたします)



子どもの権利と社会的子育て Vol.3

12月6日里親説明会を開催しました。説明会の中でも話されましたが、いろいろな事業をする中で、乳幼児期の愛着形成がその子どもの人間関係、自分が親になった時の親子関係に密接に関わってくることを実感し、家庭の中で同じ人が子どもに関わる里親の役割の大切さを感じています。また、家庭でしているごく普通のこと、例えば大皿から自分の皿におかずを取り分けたり、今日の献立を今日考えて買物に行き作って食べる、家族の一員として手伝いをするなどの生活体験や、将来自分が家庭を持った時のモデルとして家庭を体験することが、施設の子どもたちにとって大切だということです。そこで、週末や長期休暇、年末年始に施設の子どもを受け入れる、ホームステイ事業はファミリーサポートセンター事業の延長として捉えられ、構えずにできる支援ではないでしょうか。説明会では、2人の養育里親の方が、実際に子どもを受け入れた体験談を話されました。家に来たばかりの時に、部屋の隅でポツンといる子どもを見て胸が痛んだこと、自分の存在を確かめたくて様々な問題行動をして里親が試されたこと、たくさんのご苦労もありながら、子どもが我が家に来てくれてよかった、自分たちの喜びであり、子どもと共に自分たちも育っていますという言葉に子どもへの想いと愛情を感じました。松阪市には里親家庭が10世帯あるそうです。そこで暮らしている子どもを見守り、その家庭を理解し支援することが、地域で支えることの第一歩だと思います。



Winter NO.192
2015年12月25日
発行元: 特定非営利活動法人
松阪子どもNPOセンター

子どもたちがのびやかで豊かな「子ども時代」をすごすために

子どもフリーマーケット

10月18日(日)岡寺山継松寺において開催された観音市にて、子どもフリーマーケットを行いました。子どもフリーマーケットとは、子ども自身で売るものを選び、値段設定から値札付け、商品の並べ方などを工夫し、計画して出店するフリーマーケットです。10月4日(土)に店長会議を開き、子どもが主体となって場所やルールを決めました。当日までに、値段を書いたPOPを作ったり、袋詰めを行ったり、「営業中」の看板を作ったりと、それぞれが計画を立てて準備をしていました。

当日は、開店1時間前に集まり開店準備を行い、お客さんが見やすいように並べたり、おつりを渡す係や、袋に入れてお客さんに渡す係を決めたりするグループもありました。『さあ!開店します!』の声を聞くと、『いらっしゃいませ〜!』と大きな声でお客さん呼び込む子、お客さんと笑顔で話しながらやり取りをする子や、少し恥ずかしそうにしながら、『これは50円になります。』とお客さんとやり取りをする子がいました。また、時間が経つにつれ一つずつ売っていた商品を三つ合わせて売ったり、値下げをしたりと工夫をするグループがありました。参加した子どもたちに感想を聞くと、『商品一つ一つに値段をつけるのが大変だったけど、売れたときはうれしかった。』『一緒にしたお友だちともっと仲良くなれたし、いろんなお客さんと話すことができていい機会になった。』『本当に楽しかった!!』と目を輝かせながら、とても満足そうに話してくれました。また、子どもたちの保護者からは、『お金のやりとりで、きちんと計算ができるのか子どもたちだけでお店をするなんて大丈夫なのか、と心配でしたが、一日を通してなかなかできない貴重な体験をさせてもらうことができて良かったです。また、子どもたちだけで立派なお店をすることができたことを嬉しく感じました。』『見守ることの難しさ、いつも口出しをして子どもに任すことをしていなかったことに気づきました。』と感想をいただきました。11月15日(日)にまとめの会をして親子ともども貴重な体験になったことが話されました。



一日を通してなかなかできない貴重な体験をさせてもらうことができて良かったです。また、子どもたちだけで立派なお店をすることができたことを嬉しく感じました。『見守ることの難しさ、いつも口出しをして子どもに任すことをしていなかったことに気づきました。』と感想をいただきました。11月15日(日)にまとめの会をして親子ともども貴重な体験になったことが話されました。

●この会に賛同し、会を支えてくださる個人・団体の方を募集しています●

個人正会員・参加会員: 年8,400円 賛助団体会員: 年1口10,000円 支援会員: 年1口3,000円
※入会金: 300円

11月末会員数 正会員: 30名 参加会員: 6名 支援会員: 90名 賛助団体会員: 25団体

【賛助団体会員】	・医療法人 桜木記念病院	・東海印刷株式会社	・松阪市健康体連連絡協議会
・医療法人 イワサ小児科	・ささおこどもクリニック	・東海シーリング株式会社	・まんのう整形外科
・うれしの 太田クリニック	・株式会社 ジェントリー	・ナガフジ産業有限会社(3口)	・医療法人 南産婦人科
・大久保クリニック	・上瀬クリニック	・はせがわこどもクリニック	・医療法人社団 鷺尾小児科
・おおたクリニック	・医療法人 たるみ内科胃腸科	・健康体操 ひまわり会	・他一団体
・岡田パッケージ株式会社	・医療法人 地主矯正歯科クリニック	・株式会社 富士土地	
・医療法人 河合産婦人科	・鎮守の森を夢見る会・その二	・株式会社 フレンズ ミスタードーナツ・松燈庵	

特定非営利活動法人 松阪子どもNPOセンター

〒515-0084 松阪市日野町788 カリヨンプラザ1F (開所日・時間 月~金10:00~17:00)
TEL 0598-20-8344 FAX 0598-20-8345 ホームページ <http://www.mknpj.jp/> eメール info@mknpj.jp

里親シンポジウム

10月3日(土)午後1時半から三重県人権センターを会場に行われました。県内各地から300名を超え、松阪からは34名の参加がありました。

講演会は村田和木さんを講師に迎え、~「家族」をつくる~というテーマでした。村田さんは都内の児童養護施設で週に1度の生活ボランティアをされファミリーホームを立ち上げられた方です。

子どもにとって家庭での体験は、将来自立したり家庭を持ったりする時に、そのモデルとなる大切なものです。そのためにも里親制度は重要な役割を担っています。

パネルディスカッションでは、村田さんをコーディネーターに里親さん、里親家庭で育った実子さん、乳児院の里親支援専門相談員の方の体験談を聞きました。里親家庭に来たばかりの子どもは、一点をじっと見ていたり、赤ちゃん返りをしたりしていましたが、「あなたが大切だよ」というメッセージを伝えていく事で、だんだんと柔らかな表情になっていったそうです。葛藤もありながら、家庭の中で生まれ共に育ちあうことができたことと結ばれた里親家庭で育った実子さんのお話が、心に残りました。

【上記のお問い合わせ・お申し込み先】

特定非営利活動法人 松阪子どもNPOセンター TEL0598-20-8344 FAX0598-20-8345
くわしくはホームページで! → [松阪子どもNPOセンター](#) 検索

チャイルドラインカードは三重県すべての小中高等学校児童生徒に、学校を通じて配布されています。



チャイルドラインとは



全国で44都道府県72の団体関わっています。特定非営利活動法人松阪子どもNPOセンターはチャイルドラインMIEネットワークの松阪地域実施組織としてこの事業に取り組んでいます。

「チャイルドライン」は、子どもがかける、子ども専用電話です。(子どもとは18歳まで)

「チャイルドライン」はどんなことでもOK、匿名でかけられ、秘密は絶対に守られます。どんなことでも、一緒に考えます。

子どもは、悩みや聞いてほしいことを話し、充分聞いてもらうことができたと感じることで、自分の気持ちに気づき自己決定ができます。耳を傾け、気持ちに寄り添い声を聴く。それが「チャイルドライン」です。

松阪地域の活動

チャイルドラインMIE
県内実施組織



受け手・支え手
ボランティア募集!

～子ども支援者養成講座～

子ども支援に関わる方におすすめの講座です。また、支援者養成・資質向上研修に活用していただけます。さらに、受け手支え手を希望される方は、必ず受けていただく講座です。(来年度は、6月頃の予定です)

(講座内容)

- ・チャイルドラインとは
- ・子ども支援のまちを創ろう
チャイルドライン活動に子どもの権利条約を活かす
- ・いじめと不登校 経験と活動からみえること
- ・コミュニケーションの体験
- ・子ども時代に立ち返るワークショップ
- ・子ども虐待
- ・依存症からの回復とエンパワメント
- ・子どもには力がある
～子どものエンパワメントを支えるおとなの役割～
- ・思春期外来
- ・子どもたちに性の問題を正しく伝えるために
- ・「私」を引き受ける-「I'm ok」

ファンド活動

チャイルドライン MIE ネットワーク松阪地域では募金などファンドの目標を立て、様々な取り組みをしています。ご協力いただいた募金は電話設置にかかる費用やチャイルドラインカード代、研修、組織運営費などに使わせていただきます。

10月18日(日)に済生会松阪総合病院にて行われた「健康フェスタマンモサンデー2015」や11月3日(火)「氏郷まつり」、11月14日(土)「まごころ苑文化祭」に参加し、ファンド活動を行いました。多くの方に日頃の活動を知ってもらいたい機会となり、たくさんのご協力をいただきありがとうございます。



各イベントの際のスタッフや使用済みインクカートリッジの仕分け、チャイルドラインのカード分けなどのボランティアをしていただける方も募集しています。

チャイルドラインチャリティ映画会「うまれる ずっと、いっしょ。」

日時 2016年1月22日(金)
①10:00~12:10 ②13:30~15:40 ③19:00~21:10

会場 農業屋コミュニティ文化センター(松阪市川井町690-1)

参加費 大人 1000円(当日1500円)
子ども(小学生~18歳) 700円(当日1000円)

託児 ①の時間は託児が有ります(1人500円)

※①②の時間はママさんタイム上映です。(未就学の子と一緒に入場できます)

障害者手帳を提示の方は無料にさせていただきます。

映画は字幕付きです。



「葦牙」「隣る人」「happy-しあわせを探すあなたへ」「かみさまのやくそく」と続けてきたチャリティ映画も5回目となりました。

今回の映画は、「うまれる ずっと、いっしょ。」です。「血の繋がりが無い息子に向き合う父」「最愛の妻を失った事実に向き合う夫」「重篤な障がいを持つ子を育てる夫婦」の3家族が登場するドキュメンタリー映画です。彼らの姿を通し、命の大切さ、生きる力、そして、その土台となる「家族の在りよう」を多くの方々に見て頂きたいと思えます。

1月24日(日)13時30分からカリヨンビル市民活動センター3階において、映画を観た人たちと一緒にトーク会をします。

チャイルドラインMIE 支援会員募集!

年間3000円の支援会費で5人の子どもが15分間フリーダイヤル(通話料無料)で話ができます。

☆支援会員

団体: 年1回 10,000円

個人: 年1回 1,000円(3回以上のご協力を!)